



福岡県における観光振興の取組みについて

福岡県商工部観光局観光政策課

令和5年3月22日



目次

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状

2 令和4年度における観光振興の取組状況について【議題1】

3 前回の福岡県観光審議会（令和4年9月28日開催）

4 令和5年度における新規重点事業について【議題2】

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状_①

● 目指す将来像 ⇒ 「持続可能な観光先進県 福岡」

基本方針

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 戦略的なインバウンド誘客による旅行消費額の拡大 | 3 デジタルマーケティングの推進 |
| 2 旅行者の県内各地への来訪促進 | 4 持続可能な観光の推進 |

● 目標値 (KPI)

数値目標	2018年(H30)	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	現状値	目標達成率	目標値 2023年(R5)
					2022年(R4)		
外国人入国者数	328万人	285万人	33万人	0.6万人	40万人	11.1%	360万人
延べ宿泊者数	1,673万人	2,042万人	1,059万人	962万人	(※1) 1,419万人	71%	2,000万人
延べ宿泊者数 (外国人)	337万人	426万人	62万人	10万人	(※1) 60万人	12%	500万人
旅行消費単価 (通常入国外国人)	57,600円	65,700円	(※2) -	(※2) -	(※2) -	-	61,500円
旅行消費額	9,253億円	9,934億円	(※2) -	(※2) -	(※2) -	-	9,700億円
(日本人)	(7,231億円)	(7,996億円)	(2,979億円)	(2,692億円)	(5,498億円)	-	
(外国人)	(2,022億円)	(1,938億円)	-	-	-	-	
観光関連産業の売上金額	7,862億円	-	-	-	(※3) -	-	8,200億円

(※1) 2022年(R4)の延べ宿泊者数及び旅行消費額は速報値

(※2) 2020年(R2)以降の旅行消費額(単価)は日本人のみ(外国人は調査を中止しているため不明)

(※3) 経済センサス-活動調査の調査対象年ではないため不明

【出典】

- ・外国人入国者数：法務省「出入国管理統計」
- ・延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計」
- ・旅行消費単価：訪日外国人消費動向調査
- ・旅行消費額：観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び法務省「出入国管理統計」を基に福岡県算出
- ・観光関連産業の売上金額：総務省・経済産業省「経済センサス」、観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」に基づき、宿泊業、飲食業における観光による売上金額を推計

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状_②

● 4つの施策に係る目標

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 受入環境の充実 | 3 効果的な情報発信 |
| 2 観光資源の魅力向上 | 4 観光振興の体制強化 |

1 受入環境の充実

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	現 状 2022年(R4)	目標値 2023年(R5)
全国の延べ宿泊者数に占める福岡県の延べ宿泊者数の割合(外国人)	3.7%	3.2%	2.6%	3.6%	4.0%
インバウンド協力店登録数(※)	1,049店舗	1,078店舗	1,079店舗	1,112店舗	2,000店
ふくおかバリアフリーマップ掲載施設数(※)	—	5,566箇所	5,853箇所	5,926箇所	9,000箇所

2 観光資源の魅力向上

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	現 状 2022年(R4)	目標値 2023年(R5)
日本人旅行消費単価(宿泊客)	61,500円	49,422円	52,818円	46,760円	62,000円
旅行商品として販売したインバウンド向け体験プログラムの数(※)	23商品	51商品	84商品	117商品	30商品
サイクルツーリズムモデルルート数(※)	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所

3 効果的な情報発信

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	現 状 2022年(R4)	目標値 2023年(R5)
SNSフォロワー数	212,259人	293,218人	330,513人	452,697人	260,000人
県ホームページセッション数(※)	191万セッション	146万セッション	161万セッション	244万セッション	520万セッション
県ホームページ平均セッション時間(※)	1分05秒	1分13秒	1分07秒	1分13秒	2分40秒

4 観光振興の体制強化

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	現 状 2022年(R4)	目標値 2023年(R5)
日本版DMO及びDMO候補法人の数	9団体	11団体	14団体	14団体	9団体
観光人材育成研修受講者数(※)	244人	846人	1,731人	2,964人	累計3,800人

※年度で集計している項目の現状値(2022年)は単純比較できない。

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状_③

福岡県総合計画 における施策名	数値目標名	当初値 (R2年度)	現状値 (R4年度)	目標値 (R8年度)	目標値の考え方
ウィズコロナ・ポストコロナを 見据えた観光産業の 高付加価値化	旅行消費単価（日本人）	36,300円 (R2年)	46,760円 (R4年) ※1	50,800円 (R8年)	R6年度にコロナ前（R1）の値に回復し、 以降順調に続伸
	旅行消費単価（通常入国外国人）	66,000円 (R1年)	- ※2	78,000円 (R8年)	R6年度にインバウンドがコロナ前（R1）の 水準に戻ると想定
広域ルートの設定・新たな 観光エリアの創出による 旅行消費の拡大	旅行消費単価（日本人） （再掲）	36,300円 (R2年)	46,760円 (R4年) ※1	50,800円 (R8年)	R6年度にコロナ前（R1）の値に回復し、 以降順調に続伸
	旅行消費単価（通常入国外国人） （再掲）	66,000円 (R1年)	- ※2	78,000円 (R8年)	R6年度にインバウンドがコロナ前（R1）の 水準に戻ると想定
	リピーター率	59.5% (R1年度（参考値））	63.8% (R3年)	65.0%	毎年1%の増（過去3年間に福岡県を 2回以上訪問したと回答した県外在住者の 割合）
デジタルマーケティングの 強化	県の観光情報SNSフォロワー数 （国内向け）	85,008人 （累計）	101,026人 （累計）	200,000人 （累計）	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Twitter、Instagram）
	県の観光情報SNSフォロワー数 （海外向け）	197,570人 （累計）	351,671人 （累計）	400,000人 （累計）	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Instagram、WeChat）
	県の観光情報SNS記事閲覧数 （国内向け）	217万回	282万回	400万回	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Twitter、Instagram）
	県の観光情報SNS記事閲覧数 （海外向け）	400万回	1,117万回	800万回	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Instagram、WeChat）
マーケティングに基づく 戦略的な国内外からの 誘客・県内周遊の促進	延べ宿泊者数（日本人）	1,616万人泊 (R1年)	1,419万人泊 (R4年) ※1	1,772万人泊 (R8年)	R6年度にコロナ前（R1）の値に回復し、 以降順調に続伸
	延べ宿泊者数（外国人）	426万人泊 (R1年)	60万人泊 (R4年) ※1	532万人泊 (R8年)	R6年度にインバウンドがコロナ前（R1） の水準に戻ると想定
	リピーター率 （再掲）	59.5% (R1年度（参考値））	63.8% (R3年)	65.0%	毎年1%の増（過去3年間に福岡県を 2回以上訪問したと回答した県外在住者の 割合）
観光人材の育成、 観光組織体制の強化	観光地域づくり法人及び観光地域づくり 候補法人の数	11団体 （累計）	14団体 （累計）	17団体 （累計）	県内のDMO数は平均的であるため、 年1件の新規登録を目指す

※1 R4年は速報値

※2 新型コロナウイルスによる国調査縮小のため算出不可

2 令和4年度における観光振興の取組状況について ①

1 受入環境の充実

■ 宿泊業における生産性向上の取組みを支援

- ① 宿泊業専門アドバイザー等による課題整理及び解決に向けた個別経営支援 【支援件数：37件】(R5.3.22時点)
 - ・「福岡県中小企業生産性向上支援センター」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置
 - ・宿泊専門のアドバイザー（4名）を設置し、今後の観光需要回復期における需要を確実に取り込むため、業務効率化などの現場の改善だけでなく、サービスの向上や新事業展開といった売上向上に関する支援を実施。
- ② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援 【補助件数：21件】(R5.3.22時点)
 - ・上記①のアドバイザーによる支援を経て課題解決に取り組む中小宿泊事業者が実施する生産性向上に資する設備導入等に対し補助
 - ・補助率：1/2、補助上限額：300万円

■ ピクトグラムの活用促進による観光施設の感染防止の取組を支援

- ・日本政府観光局（JNTO）が制作した「日本の新型コロナウイルス感染症対策等を伝えるピクトグラム」（英語版）に韓国語、中国語（簡体字、繁体字）と日本語を併記した英・韓・中併記版を作成
- ・作成したピクトグラムを施設ごとの取組に合わせて自由にダウンロードできる専用ウェブサイトを開設

■ 「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間の創出を支援

- ・「福岡の伝統工芸品」の新規需要開拓や認知度向上のため、県内の宿泊施設、オフィスビル、店舗等のエントランス空間等への経済産業大臣指定・県知事指定の伝統工芸品の導入や、内装・建築工事における伝統工芸品を組み込んだ部材の使用を支援

【生産性向上にかかる支援実績(例)】

ロボット掃除機の導入（業務効率化）



※資料協力：清乃屋

客室リニューアル（売上向上）



※資料協力：エンナンホテル久留米

【ピクトグラムの活用実績(例)】



【おもてなし空間創出支援(例)】



※資料協力：御花

2 令和4年度における観光振興の取組状況について ②

2 観光資源の魅力向上

■ 統一的なテーマ設定による資源開発と商品造成を支援

- ・ 県内6地域に設定した広域観光エリアにおいて、各エリアの強みを活かしながら、他地域との差別化を図るための“尖った”観光テーマを設定し、観光客のニーズに沿った体験プログラムの磨き上げ等を行い、「食べる、遊ぶ、泊まる」を一体的に楽しめる本県の新たな“観光の核”となる地域づくりを推進
- ・ 広域観光エリアにおける体験プログラム開発や受入環境整備、観光消費促進に関する事業を実施する観光関連事業者を支援
 - ※ 補助率1/2、上限200万円、支援件数23件
- ・ 古民家や自然景観とアクティビティを組み合わせたグランピング等の新規整備又は改修を実施する宿泊事業者を支援
 - ※ 補助率1/2、上限1,000万円、支援件数5件

■ 各エリアの概要

エリア	エリアを構成する市町村	テーマ/主な取組内容
筑前玄海エリア	宗像市、古賀市、福津市、芦屋町、岡垣町	「イカのまち」/多様なイカの食メニューの開発、フェアの開催
八女・筑後・広川エリア	八女市、筑後市、広川町	「クラフトのまち」/伝統工芸品、八女茶、焼酎等の職人との対話を取り入れた体験プログラム開発
飯塚・嘉麻・桂川エリア	飯塚市、嘉麻市、桂川町	「エネルギーの源があるまちココロとカラダの健康～」/アウトドアアクティビティと食(たんぱく質中心)の体験プログラム開発
京築エリア	行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町	「神楽の里・鬼すごい京築」/豊前神楽にちなんだ「鬼」を強調語の意味で使用し、体験プログラムを開発
久留米・うきは・朝倉エリア	久留米市、うきは市、朝倉市	「ヘルス&ビューティーのまち」/温泉、フルーツ、ハーブ、きれいな水等の体験プログラムを開発、資生堂工場見学者の滞在を促す
日田彦山線BRT ひこぼしライン沿線エリア	東峰村、添田町	「ものづくりと修験の文化が息づくまち」令和5年夏開業予定のBRT開通時における観光プロモーションを視野に、観光資源開発・旅行商品造成等を推進

■ 体験プログラムの一例

【筑前玄海エリア】



イカ王国筑前玄海イカフェア

【八女・筑後・広川エリア】



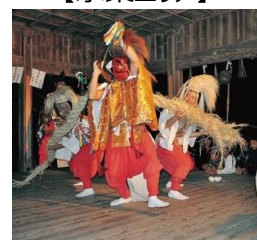
オリジナルブレンド
八女茶づくり

【飯塚・嘉麻・桂川エリア】



アドベンチャーチャレンジ!

【京築エリア】



神楽体験

【久留米・うきは・朝倉エリア】



“美肌の湯”入浴つき
美肌ランチプラン

【ひこぼしライン沿線エリア】



ヤマメ釣り・しいたけ収穫&
キャンプ飯体験

2 令和4年度における観光振興の取組状況について ③

2 観光資源の魅力向上

■ サイクルツーリズムの推進

① ディスカバー九州

- ・ 令和5年秋に開催する国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」に合わせ、九州・山口9県でサイクリング周遊型旅行商品を展開する。
- ・ 令和5年2月28日、「ディスカバー九州」公式サイトを公開し、第一弾では国内向けの11商品（福岡県内は4商品）の販売を開始。



【第一弾で販売中の福岡県内の商品】

1. 海と川の自然を巡る宗像・直方ライド
2. 小京都秋月を巡る歴史ライド
3. 蒙古襲来、いこしえの戦いの史跡を巡るライド
4. 福岡博多歴史ライド



公式サイト

② 台湾からのサイクリスト誘客事業

- ・ 令和4年11月、台湾のサイクリング協会や旅行会社を招聘し、県内のサイクリングルートを実際に走行していただくモニターツアーを初開催。
- ・ 4月以降催行するツアーで60人の誘客を目指し、商談を実施中。



【台湾のサイクリストを招聘したファミトリップの様子】

③ サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要を創出するための事業開発支援

- ・ バス、タクシー等において自転車を車内外に積載して移動可能とする事業又はレンタサイクル・シェアサイクルの新規実施又は事業拡充を実施する事業者を支援

※ 補助率1/2、上限100万円

※ 支援件数：6件
(サイクルバス導入3件、
レンタサイクル導入3件)



【西鉄サイクルバス「サイクルカーゴ」イメージ】



【西鉄バス二日市
(輸行箱の導入)】



【家康観光「サイクル
チャーター」】

2 令和4年度における観光振興の取組状況について ④

3 効果的な情報発信

■ 観光キャンペーンの実施

	「福岡の避密の旅」観光キャンペーン 【第4弾】	「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーン	
利用期間	R3.12.10～R4.10.10 ※R4.1.28～R4.4.7はキャンペーン中止 R4.4.29～R4.5.8はキャンペーン対象外	R4.10.11～R4.12.27	R5.1.10～R5.6.30
目標人数	61万人	200万人	110万人
利用対象者	福岡県、山口県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県居住者 ※条件：ワクチン・検査パッケージの適用	全国 ※条件：ワクチン・検査パッケージの適用	全国 ※条件：ワクチン・検査パッケージの適用
内 容	<p>①補助額 県内宿泊・旅行代金の50% ・宿泊 最大5,000円/泊 ・日帰り 最大3,000円/人</p> <p>②助成方法 ・コンビニクーポン ・宿泊施設での直接割引 ・旅行予約サイト（電子クーポン） ・旅行会社で割引商品販売</p> <p>③地域クーポン券 1泊最大2,000円 日帰り最大1,000円</p>	<p>①補助額 県内宿泊・旅行代金の40% ・交通付宿泊商品 最大8,000円/泊 ・宿泊のみ 最大5,000円/泊 ・日帰り 最大5,000円/1回</p> <p>②助成方法 ・宿泊施設での直接割引 ・旅行予約サイト（電子クーポン） ・全国の旅行会社で割引商品販売</p> <p>③地域クーポン券 平日最大3,000円 休日最大1,000円</p>	<p>①補助額 県内宿泊・旅行代金の20% ・交通付宿泊商品 最大5,000円/泊 ・宿泊のみ 最大3,000円/泊 ・日帰り 最大3,000円/1回</p> <p>②助成方法 ・宿泊施設での直接割引 ・旅行予約サイト（電子クーポン） ・全国の旅行会社で割引商品販売</p> <p>③地域クーポン券 平日最大2,000円 休日最大1,000円</p>

2 令和4年度における観光振興の取組状況について ⑤

3 効果的な情報発信

■ 福岡・大分デスティネーションキャンペーン(DC)

- ・自治体、観光関係者等がJRグループ6社と共同で開催する大型観光キャンペーン
- ・令和6年春に大分県と共同で開催
- ・DCに向けて、観光資源の開発・磨き上げ、おもてなしなどの受入態勢の構築を図る
また、全国に向けた情報発信を強化するため、県の観光情報サイト「クロスロードふくおか」を全面改修
- ・令和5年5月に全国の旅行会社等を招聘して実施する「全国宣伝販売促進会議」の開催を準備

■ 修学旅行需要の回復に向けたキャンペーンを実施

- ・県内外の学校が本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する場合にバス借上料の一部を助成。
(9月補正予算において、誘致目標を400台から800台に拡大)

【補助額】 1日1台当たり最大5万円

補助申請件数：147件、626台、11,920人 (R5.3.9時点)

■ 広域観光エリアのプロモーションを強化

- ・「じゃらん遊び・体験」内に、6つの広域観光エリアのテーマや特色、エリア内で体験できるプログラムの情報をワンストップで提供できる特設ページ「新しい「ふくおかあそび」」を開設
- ・「ツーリズムEXPOジャパン」で特設ブースを設け広く情報を発信

■ インバウンド回復に向けたデジタルプロモーションを実施

- ・多言語サイト「VISIT FUKUOKA」やSNSを活用し、ターゲットを絞った情報発信
SNSによる情報発信：中国向け「Wechat」、「Weibo」、台湾・香港、欧米豪向けFacebook
- ・海外の旅行会社向けにメタバースを活用したオンライン観光説明会を実施 (ターゲット：東アジア、欧米豪)

発信件数：627件 (R5.3.22時点)



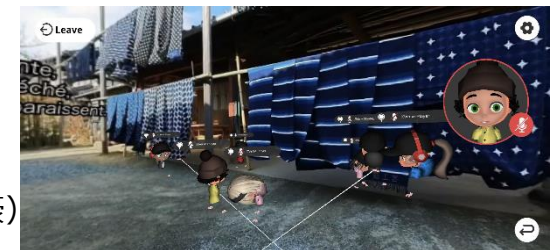
至福の旅!大吉の旅!福岡・大分

福岡・大分デスティネーションキャンペーン

【福岡・大分デスティネーションキャンペーンロゴマーク】



【特設ページ「新しい「ふくおかあそび」」】



【メタバースを活用したオンライン観光説明会の様子】

4 観光振興の体制強化

■ 観光団体のDMO化を加速

① DMO本登録に必要な専門人材の育成講座を実施

・DMOの役割を担うために必要な「観光戦略策定・データ分析」、「デジタルマーケティング（プロモーション）」の専門人材を育成するため、県内の市町村や観光団体等を対象に、「ふくおか観光地域づくり共創塾」を開講。

受講者数：のべ23名

② DMO登録要件等に関する相談・指導を行うワンストップ支援窓口を設置

【概要】

- ・DMO候補法人等を対象に、事業計画実施に向けた個々の課題を解決するための幅広い相談を受け付ける「ワンストップ支援窓口」を設置。
- ・県内観光協会等のDMO登録要件に関する相談を受け付けるほか、その課題内容に応じた専門家を派遣。

【支援内容の例】

- ・DMOの機能や役割についての説明、課題抽出のためのヒアリング、DMO登録に向けたロードマップ作成 等

支援団体数：6団体



【ふくおか観光地域づくり共創塾の様子】



【ワンストップ支援窓口による相談対応の様子(柳川市)】

3 前回の福岡県観光審議会（令和4年9月28日開催）

- （議題）①令和4年度における観光振興の取組状況について
②令和5年度における観光振興の施策の方向性について

<委員からのご意見> ※いずれも議題②に関するご意見

① コロナで大きな打撃を受けた観光産業の復興とインバウンド観光の再生

- ・ 東アジアについてはまだ制約があり、少し欧米豪にシフトした政策、施策を行ってはどうか。
- ・ コロナにより観光産業から離れてしまった人も多く、観光客が戻ってきても受け入れられる体制が整っていない。観光業の底上げが必要。
- ・ 旅行商品を開発しても、気づいてもらえないところがある。情報を発信していくところまでセットで考えるべき。

② 2024年春のJR destinations キャンペーン（DC）に向けた選ばれる観光地域づくり

- ・ 福岡は食とイベントに頼っているところがある。DCをPRの場として、体験等を継続していく機会になればよいと思う。
- ・ 背後にストーリーやコンテンツがあると、価値が何倍にもなったり、地域への思いが深くなるといった事例が多くある。コンテンツ化していくことが重要。
- ・ 新しい観光地、工芸品や農業等を活用していくには、滞在型で同じ宿に複数泊し、地域になじみ楽しんでもらうことが単価向上の面からも重要。

③ デジタル化等の潮流を踏まえた受入体制整備

- ・ デジタルによる旅行体験が進んでいけばいるほど、居心地のいい旅先と旅行者が感じやすくなっている。ここはしっかり進めていくべき。
- ・ 外国の方々が来られた時に交通手段に悩まされていると思われる。個人客になっていくという潮流もあり、進めていく必要がある。

④ 観光人材の育成、観光組織体制の強化

- ・ DMOについては、できた後、民間からお金を落としてもらうため、民間と連携した取り組みが必要ではないか。
- ・ 観光人材の育成として、教育機関を体制に取り入れてはどうか。リスキングやDMO等現場での観光人材育成についても連携できると思う。

⑤ 伝統的工芸品や県産品の認知度向上・販路拡大

- ・ 他の産地や成功事例などを調べる機会がないので、組合ごとや産地ごとにまとめた勉強会を行うとよいのでは。
- ・ 建築分野やホテル、商業施設など、新領域の開発にも取り組むべき。

4 令和5年度における新規重点事業について ①

1 受入環境の充実

■ MaaSを活用した観光客の周遊促進を支援

- ・ 観光地へのアクセス向上を図るためのモビリティ等の導入実証実験を支援
- ・ MaaSアプリへの観光情報掲載、企画乗車券の造成に対する支援

■ ユニバーサルツーリズムの推進

- ・ ユニバーサルツーリズムを実践する観光関連事業者が抱える課題解決に向け、アドバイザー派遣による伴走支援を実施
- ・ 誰もが安心して県内各地を旅行できるよう、車いす・ベビーカーの貸出実証を実施

■ 新幹線荷物輸送の実証実験

- ・ 関西圏を訪問した外国人旅行者を対象に、新幹線を活用し荷物を福岡県の宿泊施設に当日配送するサービスの実証実験を実施



【外国人への車いす貸出説明の様子】

2 観光資源の魅力向上

■ 福岡・大分DCに向けた観光資源の磨き上げ

- ・ 複数の市町村が連携して取り組む広域観光ルートの開発を支援
- ・ 市町村等が実施するDC特別イベントの開催を支援
- ・ 他部局と連携し、景観・ワンヘルス※・自然等を活用した観光資源を開発
※ワンヘルスとは・・・「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と捉え、一体的に守っていくという考え方

■ サイクル・トレイルツーリズムを推進

- ・ サイクリングツアーに対応したガイド資格取得に向けた講習会の開催



【工場見学のパッケージ化による広域観光ルート開発(イメージ)】

4 令和5年度における新規重点事業について ②

13

3 効果的な情報発信

■ 福岡・大分DCに向けた観光事業の強化

- ・福岡・大分DC実行委員会や福岡県DC実行委員会によるプロモーションやキャンペーンの実施（拡充）
- ・ホテルにおける八女茶のティーバッグ提供や県営公園内施設における県内花きの飾花・配布によるおもてなしの強化

■ 国内誘客プロモーションを推進

- ・観光客の需要の平準化を図るため、閑散期の平日に県内地方部の宿泊施設に宿泊した旅行者への助成を実施（割引率：宿泊・旅行代の20%、割引上限額：3千円）
- ・SDGs・ワンヘルス学習に対応した修学旅行商品の造成支援

■ インバウンド需要を開拓

- ・福岡の食・文化・歴史等の強みを活かした競争優位性の高い高付加価値・高単価な旅行商品の造成
- ・DCを活用した訪日外国人向けの周遊モデルコースの作成・PRの実施

■ 伝統的工芸品など県産品の認知度向上・販路拡大

- ・首都圏等で実施する福岡県物産展において新商品のトライアル販売や観光PR特設コーナーを設置
- ・県知事指定特産民工芸品の認知度向上を図るためのロゴマークを作成



【県産花きの装飾（イメージ）】



【高付加価値・高単価な旅行商品（イメージ）】



【県知事指定特産民工芸品】

4 観光振興の体制強化

■ 観光ビッグデータを活用した旅行実態の把握

- ・訪日外国人観光客の推移などのリアルタイムな動向分析（拡充）

■ 観光団体のDMO化を加速

- ・DMOと県外の事業者や異業種とのマッチングによる協業促進

■ 宿泊、飲食事業の人材育成を支援

- ・ハラール、ヴィーガンといった多様な食文化の普及啓発やメニュー開発に向けた個別相談等の支援を実施



【植物由来の原料でできたプラントベースのラーメン】
一風堂ホームページより
https://www.ippudo.com/news/220709_lumineest/